

# かがんご

## 議会だより No.121

平成 25 年度決算	..... P 2 ~ 3
9 月定例会	..... P 4
議案質疑	..... P 5
委員会質疑	..... P 6
議決結果一覧表	..... P 7

議会のうごき・議会改革	..... P 8
研修レポート・議会ひとくち MEMO	..... P 9
一般質問	..... P 10 ~ 23
人物クローズアップ	..... P 24



# 会計 特別会計認定

苅田町の財政状況は年々厳しさを増している。監査委員からは財政構造の硬直化を指摘され、町単独施策の見直しを含めた費用抑制及び公共料金の値上げ等の財源確保措置の必要性について提言があった。決算委員会では、各委員から行政運営や行財政改革について厳しい意見が相次いだ。抜本的な財政立て直しが急務となっている。

平成25年度一般会計及び特別会計7件、企業会計2件について、決算特別委員会で審議

## 財政指標

すべての指標で悪化傾向が続いている。

### 財政構造の弾力性や健全性を示す主要な指標

年度	財政力指数	経常収支比率	経常一般財源比率	実質公債費比率
25年度	1.127	100.3%	96.5%	10.5%
24年度	1.160	95.0%	106.6%	10.2%
23年度	1.276	92.3%	107.3%	9.8%

※財政力指数：財政力の強弱を測る指標。1を超えると財政力が強い。

※経常収支比率：財政構造の弾力性を判断する指標。指数が高いほど財政が硬直化している。

※経常一般財源比率：町税等の経常的に収入される一般財源と標準的な行政活動に必要な額の比率。100を超えると財政にゆとりがある。

※実質公債費比率：一般会計が負担する町債の返済額の比率。低いほど望ましい。

## 実質収支及び実質単年度収支の推移

年度	実質収支	実質単年度収支
25年度	5億 1,696万円	△ 6億 7,073万円
24年度	5億 9,153万円	△ 7億 7,890万円
23年度	13億 7,657万円	△ 4億 9,554万円
22年度	18億 7,825万円	△ 3億 1,651万円
21年度	22億 2,242万円	△ 2億 8,051万円

※実質収支：歳入総額－歳出総額（翌年度繰越財源含む）

※実質単年度収支：単年度収支から、実質的な赤字・黒字要素（財政調整積立金、財政調整基金の取崩し、地方債繰上償還）を加減したものの。当該年度だけの実質的な収支を把握するための指標

# 平成 25 年度 決算 一般

区別	平成 24 年度	平成 25 年度	
	決算額	決算額	増減額
議会費	1 億 6,907 万 6 千円	1 億 7,571 万 2 千円	663 万 6 千円
総務費	15 億 4,804 万 4 千円	15 億 4,865 万 5 千円	61 万 1 千円
民生費	39 億 7,142 万 1 千円	42 億 3,755 万 4 千円	2 億 6,613 万 3 千円
衛生費	14 億 2,198 万 6 千円	14 億 394 万円	△ 1,804 万 6 千円
労働費	539 万 9 千円	101 万 8 千円	△ 438 万 1 千円
農林水産業費	3 億 9,321 万円	3 億 3,504 万 7 千円	△ 5,816 万 3 千円
商工費	1 億 3,578 万円	1 億 208 万 4 千円	△ 3,369 万 6 千円
土木費	21 億 5,443 万 2 千円	16 億 6,714 万 1 千円	△ 4 億 8,729 万 1 千円
消防費	4 億 2,250 万 8 千円	4 億 9,107 万 3 千円	6,856 万 5 千円
教育費	17 億 4,639 万 9 千円	15 億 1,138 万 1 千円	△ 2 億 3,501 万 9 千円
災害復旧費	96 万 7 千円	5 千円	△ 96 万 2 千円
公債費	13 億 950 万 2 千円	13 億 5,972 万 8 千円	5,022 万 6 千円
諸支出金	1,155 万 7 千円	1,326 万 7 千円	171 万円
歳出合計	132 億 9,028 万 2 千円	128 億 4,660 万 5 千円	△ 4 億 4,367 万 7 千円

**\* 平成 25 年度 特別会計 決算額**

特別会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険	36 億 3,919 万円	37 億 1,113 万円	△ 7194 万円
後期高齢者	4 億 1,143 万円	4 億 845 万円	298 万円
介護保険	20 億 4,893 万円	20 億 4,090 万円	803 万円
土地区画整備事業	9 億 333 万円	8 億 7,752 万円	2,581 万円
住宅新築資金等	269 万円	122 万円	147 万円
苅田臨空産業 団地開発事業	2 億 5,878 万円	2 億 667 万円	5,211 万円
京都郡公平委員会	57 万円	42 万円	15 万円
歳入歳出合計	72 億 6,492 万円	72 億 4,631 万円	1,861 万円

**町債 (借金) の累計残額**

一般会計	133 億 7,755 万円
上下水道 事業	105 億 6,688 万円
特別会計	4 億 4,746 万円
合計	243 億 9,189 万円

**基金 (預金) の累計残額**

43 億 285 万円 (町民一人当たり 11 万 9,507 円)
---------------------------------------

# 9 月定例会 (9 月 2 日 ~ 24 日)

## 平成 26 年度 苅田町 一般会計 補正予算等 21 件を慎重審議

### 補正予算

平成 26 年度 一般会計 補正予算 (第 3 号) は、歳入歳出それぞれ 1 億 8 千 4 百 5 万 1 千 円

を追加し、予算総額は 1 億 3 千 7 百 2 万 7 千 1 百 5 万 9 千 円

### 条例改正

● 苅田町 重度障害者医療費の支給に関する条例等  
中国残留邦人等の円滑

### \* 平成 26 年度 補正予算

一般会計 歳入	1,845 万円
・ 国県支出金	△ 758 万円
・ 繰入金	1 億 807 万円
・ 繰越金	△ 8,238 万円
歳出 (増額の主なもの)	
・ コンビニ収納対応電算システム改修委託料	192 万円
・ 障害者福祉システム改修委託料	216 万円
・ 子ども定期予防接種委託料外	2,060 万円
・ ごみ収集袋購入費	502 万円
・ リレーマラソン in 苅田町 事業補助金	100 万円
・ 木造戸建て住宅耐震改修補助金	300 万円
・ 出土品自然化学分析委託料外	547 万円
・ 災害復旧費	670 万円
国民健康保険特別会計	△ 72 万円
後期高齢者医療特別会計	598 万円
介護保険特別会計	1,296 万円
土地区画整理事業特別会計	22 万円
下水道事業 資本的支出予算	111 万円

### 協議議案

- 財産の処分  
普通財産である大字南原の雑種地 (狭間池用地) の売却処分
- 工事請負契約の締結 (消防・救急デジタル無線システム整備工事)
- 決算の認定  
平成 25 年度 苅田町 一般会計ほか 9 件の決算の認定

### 専決処分

- 平成 26 年度 苅田町 一般会計 補正予算 (第 2 号)
- 和解及び損害賠償額の決定

### 意見書

- 川内原発の再稼働に反対する意見書
- 労働者保護ルール導

守を求める意見書

- すべてのアスベスト被害者の早期救済・解決を図る事などを求める意見書

- 「危険ドラッグ (脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

- 「農業・農協改革」に関する意見書



昨年のリレーマラソン

# 議案質疑

## 補正予算

**Q** コンビニ収納の税

目が増えた理由・収納率・手数料は。

**A** 固定資産税・町民税の普通徴収分・国民健康保険税を新たに導入。高齢者の増加に伴い、納税の利

便性を図るため。収納率は算出していない。手数料は、1件につき60円。

**Q** リレーマラソンに対する補助金を半額の100万円に減額してまで、続ける理由は。

**A** 実行委員会の主催で、産官が協働して



コミュニティバス

の集客やにぎわいをつくるとともに、町のPRの事業に対して、応分の費用負担をする。

**Q** 町民も楽しみにしていた盆踊り・秋満喫祭の中止理由は。

**A** 財政の厳しい中、執行の段階で見直した。

**Q** 議会が議決する予算の根拠、予算の組み方そのものがおかしくなるのでは。

**A** 実行委員会の結論で凍結。議会への説明が遅れた。減額補正すべきだった。

**Q** 財政状況の悪化について、数年前から多くの議員が指摘してきたが。

**A** その認識はある。しかし、一気に住民サービスを削減出来ない。他市町村と比べて、過剰なところは削減する。

は削減する。

**Q** コミュニティバスの債務負担行為は、白紙撤回を明言された。温水プールと同じプロポーザル方式なら、補正予算書から削除すべきでは。

**A** コミバスについては、国の認可などで準備期間が必要。12月議会では遅いので、今議会に上程した。

## 財産（狭間池用地）の処分

**Q** 過去の歴史的な経緯があるが、処分の理由は。

**A** 高圧線の関係で、公共施設は難しい。民間の開発を期待して処分した。

## 平成25年度一般会計決算の認定

**Q** 専修学校等技能習



得資金貸与金の増減額は、ゼロだが。

**A** すべて県費で、今は事務を行っている。なので、事務負担金も貰っていない。債権も県に返したいが、協議が整っていない。

## 平成25年度苅田エコプラント(株)の経営状況報告

**Q** 町民の税金を投入

して利益を上げ、3000万円の税金を払っている。税金で税金を払うことは昨年も指摘した。改善の検討は。

**A** 借入金の返済のため、利益を確保した。取締役会で改善策を立てた。来年度は、必ず反映させる。

# 委員会質疑

## ▼総務常任委員会

### ▼一般会計補正予算

**Q** 集会所施設整備補助金は、改修内容によって金額が変わるか。

**A** 集会所改修等補助金交付要綱に基づき、増築・改築は経費の2分の1以内で、上限800万円。新築の場合は経費の3分の2以内で、上限2000万円となる。

**Q** リレーマラソンin苅田町への補助金は、営利企業のJTBに対する補助金となり、不適切では。9月でなく12月議会の議案ではないか。

**A** 主催者の実行委員会に対する補助金支出。早く募集をするために、9月議会に上程した。

### ▼公有財産の売却

**Q** 通称 狭間池の売却に伴い、隣接する道路開発の計画は。

**A** 売却に伴う利用計画では、道路開発を条件としていない。



狭間池

## ▼産業建設常任委員会

### ▼一般会計補正予算

**Q** 道路新設改良費が減額されているが。

**A** 交付金を申請したが、全額下りなかった。計画年度は延びる。

### ▼債務負担行為コミュニティバス運行

**Q** 全員協議会で白紙撤回し、見直して説明する予定だったが、説明がないままの採決はできないか。

**A** 来年度から事業を行うための予算を確保するため上程した。内容については、まだ議会の理解は得られていない。

**Q** 全員協議会で説明した内容と違いはあるか。

**A** 基本的にはない。

**Q** 高齢化社会や買物難民などの問題がある。2倍の料金値上げは納得できない。

**A** 他の市町村と比較しても、200円は普通。利用者へのアンケートでも59%が「上げてもいい」との回答だった。

## ▼厚生文教常任委員会

### ▼一般会計補正予算

**Q** パンジープラザの修繕料増額補正の理由と内訳は。

**A** 当初予算は、前年度に比べて減額となったため補正予算で対応した。内訳は、浴室のボイラー修繕に約30万円とエアコン修理に約30万円。

**Q** 予防接種委託料増額補正には、国等の補助金はないのか。対象者は。

**A** 不交付団体であり、補助金はない。水疱瘡子供予防対象者数は、2260人、成人肺炎球菌ワクチンは、1800人。

**Q** ゴミ袋購入費増額補正と2回入札の理由は。

**A** 原油価格の高騰及び中国での賃金の上昇が原因。値段が不安定であり、5月に1回実施した。

**Q** 幼稚園就園奨励費補助金の増額理由は。

**A** 平成26年度から奨励金額の改正があった。また、第2子以降の児童を対象とする家庭の所得制限が廃止され、対象者が大幅に増加。

### ▼後期高齢者医療特別会計補正予算

**Q** 職員給など増額補正の理由は。

**A** 広域連合に職員1名が割り当てられたため。

議案番号	議案題名	遠田孝一	尾形均	沖永義樹	白石学	伊塚弘	友田敬而	榎谷忠明	木原洋征	小山信美	常廣直行	林繁実	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	三原茂	結果
議案第47号	平成26年度苅田町一般会計補正予算(第3号)	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○	○	可決
議案第48号	平成26年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	平成26年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	平成26年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	平成26年度苅田町土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	平成26年度苅田町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	苅田町重度障害者医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	財産の処分について(狭間池用地)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	工事請負契約の締結について(消防・救急デジタル無線システム整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	専決処分について(平成26年度苅田町一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第57号	平成25年度 決算の認定について(苅田町一般会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第58号	平成25年度 決算の認定について(苅田町国民健康保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
議案第59号	平成25年度 決算の認定について(苅田町後期高齢者医療特別会計)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
議案第60号	平成25年度 決算の認定について(苅田町介護保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
議案第61号	平成25年度 決算の認定について(苅田町土地地区画整理事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第62号	平成25年度 決算の認定について(苅田町住宅新築資金等特別会計)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
議案第63号	平成25年度 決算の認定について(苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第64号	平成25年度 決算の認定について(京都郡公平委員会特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第65号	平成25年度 決算の認定について(苅田町下水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第66号	平成25年度 決算の認定について(苅田町水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第67号	専決処分について(和解及び損害賠償額の決定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
意見書案14号	川内原発の再稼動に反対する意見書	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	否決
意見書案15号	労働者保護ルール遵守を求める意見書	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○	○	可決
意見書案16号	すべてのアスベスト被害者の早期救済・解決を図る事などを求める意見書	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	可決
意見書案17号	「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書案18号	「農業・農協改革」に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決

※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

議長は採決に加わらない。○-賛成、×-反対

# 議会のうごき・議会改革

9月						8月					7月											
26日	25日	24日	17～19日	16日	10～12日	4日	2日	29日	27日	26日	22日	6日	5日	25日	24日	16日	15日	8日	2日			
議会広報特別委員会（121号編集）	百条調査特別委員会（今後の進め方）	議会閉会	決算特別委員会	全員協議会（行政改革について、刈田町「コミュニティバス事業について」）	付託常任委員会	一般質問	議案質疑	議会閉会	議会運営委員会（9月定例会）	議会広報特別委員会（121号編集）	百条調査特別委員会（今後の方針）	産業建設常任委員会（小波瀬西工大前駅周辺整備、刈田町農業公社について）	全員協議会（9月定例会）	産業建設常任委員会（小波瀬西工大前駅周辺整備、刈田町農業公社について）	百条調査特別委員会（今後の方針）	行政視察来町（新潟県聖籠町議会）	京都郡町議会議員研修会（地方自治体の業務改善 講師：石原俊彦氏）	議会広報特別委員会（120号編集）	百条調査特別委員会（参考人の意見聴取）	議会広報特別委員会（120号編集）	行政視察来町（大分県竹田市議会）	議会広報特別委員会（120号編集）

## 12月定例会の予定

12月2日（火）から  
18日（木）まで

- \* 一般質問は  
12月10日（水）  
12月11日（木）  
12月12日（金）

\* 開催時間は  
午前10時～午後5時

- \* 受付 庁舎6階にて
- \* 問合せ先 議会事務局
- ☎ 093・434・1981

9月議会の傍聴者  
**73名**

## 議会改革

## 議会中継実施しています！

### 視聴方法

刈田町ホームページの「インターネット議会中継」をクリックすると、刈田町議会インターネット中継の画面が表示されますので、「ライブ中継」または「録画中継」をクリックし、ご希望の会議映像をご覧ください。



**ココをクリック！**

新しい画面が開きます



9月末アクセス件数

ライブ中継 **838** 件

録画中継 **1,248** 件（6月からの累計）

# 研修レポート

## ▼京都郡町議会議員研修会

行橋京都自治会館（7月24日）

京都郡議会の主催で、毎年研修会が開催されている。

今回のテーマは「地方自治体における業務改善の意義」で、関西学院大学大学院石原教授からの講義が行われた。田川郡議会議長からも参加し、約40名の議員が出席した。

その概要は、行革三点セット・定数削減機構改革・法令順守等の基本的な考え方。住民には顧客という側面もあるが、最も大切なのは、「住民は行政のパートナーである」という



### いしはら としひこ 石原 俊彦氏プロフィール

関西学院大学大学院経営戦略研究科教授。公認会計士で国や地方自治体の財政、公会計、行政評価などの委員を数多く歴任。最近の著書として、「地方公共サービスのイノベーションとガバナンス」「地方自治体業務改善」ほか多数。

トナーである」という発想。今後は、自治体間相互の連携をもっと意識すべき時代を迎える。官官委託協議会機関等の共同設置・広域連合一部事務組合・定住自立権構想など、笑いも入れて詳しく示された。この研修を通じて、町の垣根を越えた意思の疎通と連帯感が高められた研修だった。

## 議会ひとくちMEMO

### 第1回テーマ 政務活動費について

**目的** 地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付する。

**使途基準** 町政に関する調査研究その他の活動のため必要な経費（研究研修費、調査旅費、資料購入費、等）。ただし選挙活動、政党活動等に充ててはならない。

#### 県内の支給状況

①福岡県内 60 市町村のうち、政務活動費を支給している自治体……30 団体  
支給していない自治体……30 団体

②支給額上位 10 団体は… ③ 苅田町及び近隣の支給実績

順位	自治体名	年額 (円)	月額 (円)
1	福岡市・北九州市		
3	久留米市		
4	飯塚市		
5	筑後市・筑紫野市・大野城市		
8	糸島市		
9	太宰府市・行橋市・豊前市		
	自治体名	年額 (円)	月額 (円)
	苅田町	300,000	25,000
	北九州市	4,200,000	350,000
	行橋市	300,000	25,000
	豊前市	300,000	25,000
	みやこ町	0	0
	築上町	0	0
	上毛町	0	0
	吉富町	240,000	20,000

#### 苅田町の支給状況

(イ) すべての支給実績に対して、領収書の添付が義務付けられている。（ガソリン代・電話使用料は年6万円については、承認届で対応している）  
(ロ) 各議員の活用状況については、議会事務局にて希望があれば閲覧できる

#### 主な活動項目について

目的	(率)
視察・研修	18.4%
書籍・資料購入	38.8%
備品購入	3.4%
ガソリン・通信費	22.9%

※視察・研修については報告書の提出を義務付けています

# 一般質問内容一覧

## 9月定例会において13名の議員が質問



質問者氏名	質問要旨	掲載頁
白石 学	1. 財政運営	11
三原 茂	1. 財政再建にむけての取り組みについて	12
武内幸次郎	1. 行財政改革について 2. 温水プールについて	13
林 繁実	1. 苅田町のまちづくりについて	14
小山 信美	1. 豪雨災害について 2. 高齢者のボランティア（地域活動）ポイント制度について	15
梶原 弘子	1. 住民とともに作る町づくり 2. 安全な生活を望む 3. 公営住宅対策について	16
常廣 直行	1. 地域防災について 2. 農業振興について 3. 都市計画について	17
遠田 孝一	1. 小波瀬西工大前駅及び周辺整備事業 2. ごみ処理事業について 3. 苅田駅周辺設備の利便性向上策	18
木原 洋征	1. コミュニティバスについて 2. 「誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり」を進めるために 3. 小中学校のエアコン設置について	19
尾形 均	1. 危機的な財政状況について	20
友田 敬而	1. 財政危機を問う	21
柘谷 忠明	1. JR小波瀬西工大前駅について 2. 防災について	22
井上 修	1. 産業振興について 2. 大型公共事業について 3. 財政問題と機構改革について	23

ページの都合で質問内容の全てが掲載されておりません。

# 財政悪化、今後の取組みは



白石 学 (公明党)

## 行財政改革を進める

**Q** 5年間の赤字・財政悪化の要因は、不況だけではない筈。

**A** 極端な税収減が一気に来た。状況の激変を予想できず、行政のボリュームの調整が遅れた。

**Q** 不況は、苅田町だけではない。経常経費の分析表を見ても苅田が一番悪い。数字の認識が甘い。

**A** 県内の類似団体や他県のデータと比べても

同様の結果だ。不交付団体で独自の行政を行っている。

**Q** 他市町村は、行財政改革等で改善しているが、本町はどうか。

**A** まず内部から改革し、自分たちから痛みを引き受け、それでも解決できなければ、住民サービスに切り込む。

**Q** 18億円の行革の効果を出す計画。人件費で1億円の効果を出したとあるが、決算では

290万の減だ。

**A** 決算では削減額になっていない。退職手当等の金額が増えた。

**Q** 削減効果を求めること自体が無意味。累積の数字ではなく、現実の数字が大事な。

**A** 3カ年度の累積で、18億の効果額を出すという計画。これでよしとはしていない。

**Q** 町民にも痛みを求めているのに、この数字で町民に説明ができるのか。

**A** 数字として見えにくい。一層行革を進める。しかるべき時期に計画を立て直し、取組みを強化する。

**Q** 物件費の委託料が非常に大きくなって

る。今後どうするのか。

**A** ごみ処理費が年間8億円、エコプラントの老朽化もあり、今後の取組みの大きな課題がごみ処理問題。

**Q** コミュニティバスについても、白紙撤回と発言があったのに取下げている。結果として町民に負担を押しつけている。

**A** コミバスは3500万円、税金を出している。

る。少しでも削減したい。

**Q** 100円を200円にして、町の負担は幾ら軽減できるのか。

**A** 削減効果額としては、300万円ほどを見込んでいます。

**Q** 300万の削減するために2倍の値上げ。益踊りも中止している。町民の納得が得られない。

**A** 財政状況が厳しい。

収入に見合った形で見直し、サービスを受ける側の負担を考えた。一方で利便性も上げる。

**Q** 今の状況では、行財政改革は非常に難しい。大胆な見直しを早急にすべきだ。

**A** 今の歳入規模の中で運営するように今後計画をしていく。思い切った見直しをする。

1. 人件費の削減 (単位: 千円)				
	25年度	26年度	27年度	累計
退職者不補充による人件費減				
積算根拠	100,000	100,000	100,000	
退職者1人当たり年間1千万円		116,000	116,000	
新規採用者1人当たり年間400万円で試算			122,000	
25年度効果額: 12人退職 5人採用 26年度効果額: 14人退職 6人採用 27年度効果額: 15人退職 7人採用		216,000	338,000	654,000
部長制廃止による管理職手当減				
積算根拠	862	862	862	
部長相手当 15%→13% 本俸45万円×2%×15.95ヶ月×6人				
		862	862	2,586
町長、副町長、教育長の給与減額				
積算根拠	1,367	1,367	1,367	
		1,367	1,367	4,101
時間外勤務手当での削減				
積算根拠	4,780	4,780	4,780	
24年度実績 3千万円		480	480	
25年度実績 2千522万円			3,000	
26年度見込み 2千474万円		5,260	8,260	18,300
放課後子ども広場指導員等報酬削減				
積算根拠	0	740	740	
25年度実績 2千674万円				
26年度見込み 2千600万円				
		740	740	1,480
子育て支援センター指導員報酬削減				
積算根拠	981	981	981	
24年度実績 607万1千円		934	934	
25年度実績 509万円				
26年度見込み 415万6千円		1,915	1,915	4,811
合計	107,990	226,144	351,144	685,278



## 財政悪化についての認識は

5年連続の赤字、大変厳しいと認識している



三原 茂（無会派）

**Q** 単年度収支は、5年連続赤字で累積は20億。平成25年度は、財政調整基金6億を充当しての赤字。町長として、役割・責任を果たしているのか。

**A** 十分に、果たせていない。

**Q** 経常収支比率が100%を超えた認識は。

**A** 重い責任を感じて

いる。

**Q** 町長は「努力している」と言われるが結果は出ていない。これらの失政の結果として、町民に不利益を与えた責任は。

**A** 運営のまずさもあり、申し訳ないと思っている。

**Q** 財政再建を執行するための具体策は。

**A** 単年度収支・経常収支比率の悪化を解

消するための、対策を実施していく。

**Q** 現行の体制・組織では、対応策はできない。外部からの知識・知恵を導入するしか実行できないと思うが、検討は。

**A** 外部の人材が、どういうことなのか、わからない。

**Q** 経営学・財政学に精通している専門家や企業再生に実績のある会計士・税理士に参画してもらい、財政再建に向けての計画をつくり、実行していくべきでは。

**A** 内部で解決できるような頑張っていく。

**Q** 4年前から、単年

度収支赤字を解消するよう指摘してきたが、本当に出来るのか。

**A** 出来なかったことも事実だが、職員と一丸になってやっていく。

### 行財政改革の進捗

**Q** 行財政改革は、3か年で18億の削減額を設定。1年半たっても、未だに2億4000万円の実施項目が、決まっていない。この行革で結果を出せるのか。

**A** 2億円以上の不足は、今後事務事業の見直しで、対応していきたい。

**Q** 人件費の削減は、3年間で6億8000万円見込んでいるが、実行できるのか。

**A** 実行できると考えている。

**Q** 人件費の総額では、前年度より40万円位しか削減できていない。このような計画で、結果は出せるのか。

**A** 計画と現状との差については認めているが、やるしかない。

### 大型公共事業の見直し

**Q** 大型公共事業の見直しについて、具体的にどのような取り組みなのか。

**A** 町単独でやっているものと広域でやるものと見直していきたい。





# 財政悪化は議会も指摘して来た

## 行財政改革を図っていく



武内幸次郎 (黎明の会)

**Q** 財政悪化により、自主性・独自性の確保がしづらくなったのでは。

**A** 独自施策による住民サービスが非常に難しくなってきた。

**Q** 経常収支比率が、100%を超えたことが過去にあったか。

**A** ないと思う。

**Q** 全国的にも少ない。財政の弾力性が失われ硬直化して来てい

る。見通しが甘かったのでは。

**A** 結果から見れば甘かった。もう少し住民に関係する施策にも、見直しを図るべきであった。

**Q** 悪化する財政状況をみて、「予算編成時に現状のサービスを継続すれば、更に厳しくなる」との議論はされたか。

**A** 削減できるところ

は見直しをと話し合ってきた。

**Q** 赤字が慢性化しており、必要以上の独自事業が固定化している。事業の廃止を含め抑制すべきでは。

**A** 監査意見書においても、教育・福祉費も指摘されており、存続を含め財政規模にあった見直しを図っていく。

**Q** 再任用職員のライオン化は、図れているのか。

**A** 長年の経験・知識・技術を活かし町政に反映させていくために配置している。

**Q** 「退職後、家にいるより働きたい。再任用であれば気楽だし

他で働くより手当も多い、元部下に使われるのは嫌だ。」といった認識では。

**A** 8割はそうだと思います。

**Q** 再任用は現職より50日程休みが多く、年間190日程休むことになり、雇用条件は民間に比べ優れている。意識改革を図るべきだ。

**A** 再任用職員の力を当てにし、正職員を30人カットする。職員の一員であるとの意識を持ち組織の中の任務を担ってもらう。

### 温水プール

**Q** 温水プールも3年になる。当初計画に沿った活用がされているのか。

**A** 健康増進と体力づくりなどふれあい交流の場を提供し、プールの機能と併設したスポーツ施設を運営している。

**Q** 維持管理費はどのように推移しているのか。

**A** 電気料金の上昇により、光熱水費が大きな割合を占めている。電力契約を切り替え経費縮減・節電に努めている。



町民温水プール



# 苅田町まちづくり「観光協会について」



林 繁実 (革進クラブ)

**Q** 美しい自然・水・

大気に恵まれた奇跡の星、地球の勇壮な歴史と苅田町の結びつき。国の天然記念物である国定公園の平尾台。青龍窟・広谷湿原が本町にあるが、どのように活かすのか。

**A** 広谷湿原には、貴重な生物が自生している。町にとっても貴重な観光資源でも

あり、癒しの場として活かしていく。

**Q** 平尾台は、地球が苅田町に与えてくれた不朽の財産である。町長の認識は。

**A** 観光協会は、観光資源の情報発信・特産品振興・伝統文化の継承支援等を行う。協会を中心に、大切な資源で、観光でのまちづくりを実施していきたい。

**Q** 町は、お金では、

手に入れない貴重な財産を持っていることを認識してもらいたい。青龍窟・広谷湿原では、湿原が減少してきていると聞くが、現状は。

**A** 遊歩道を整備し、歩いて楽しみながら登っていただきたい。道路を含めた整備が必要だと思っている。

**Q** 湿原を保全していくための工事が悪い結果をもたらしてきた。湿原の木道も、野焼きでほとんど焼失してきたようだが対策は。

**A** 広谷湿原の現況については、把握していない。大切さにつ

いては、議員の指摘により、認識させられた。

**Q** 「平尾台をラムサール条約にて世界遺産に登録」との強い思いがある。これらについて知っているのか。

**A** ラムサール条約は湿地に関する条約であるとの認識はある。詳しい事は、わからない。

**Q** ラムサール条約で世界遺産になるメリット・デメリットもある。登録されると経済効果も生まれるが、破壊・混雑・ごみ・トイレ等の問題も発生するのでは。

**A** 観光地として集客すれば、ごみや荒らされることも起こりうる。

**Q** 集客目的の観光化

は、絶対に避けなければならぬ。保全を第一義として、考えていくべきでは。

**A** 貴重な植物が持ち出されることも考えられる。自然を維持・

保護していくことと、多くの皆様に見てもらうこと、両方を成り立たせていきたい。バランスのとれた政策を考えていく。



平尾台

# 災害時の応急対策を問う

## ハード面・ソフト面で対応。早めの避難誘導



小山信美（公明党）

**Q** 豪雨災害時の応急対策は。

**A** 大雨警報発令後、随時情報収集。応急対策班は2人1組で現状把握し対策本部で検討。直ちに対応する。

**Q** 7月7日の被害状況は。

**A** 床上浸水3件、床下浸水6件、がけ崩れ6件、道路冠水10件。

**Q** 緊急災害復旧の目安は。

**A** 対策本部が認めた箇所による応急復旧で、今回は床上浸水3軒に対応した。

**Q** 薬剤散布の手配は。

**A** 今回は業者に委託。

**Q** 緊急避難場所の指定は。

**A** 10カ所。

**Q** 二崎浄水場を避難場所として利用できないか。

**A** 約200名避難できるスペースがあり利用可能だ。

**Q** 行政からの情報伝達は。

**A** 防災メールまもるくんで二崎・猪熊地区には避難勧告を発令した。

**Q** 聴覚障がい者の情報伝達について、研究結果は。

**A** メール配信システムの導入を早急な課題とし検討中。

**Q** 導入時期は。

**A** 来年度予算に計上したい。

**Q** 緊急通報を携帯で行う取り組みは。

**A** 実施先の研究をしたい。

## 高齢者ボランティアポイント制度

**Q** 介護支援ボランティア事業について近隣の状況は。

**A** 県内9市町が実施。

**Q** 東京都稲城市が、平成19年から全国初の介護ボランティアポイント制度を導入。健康維持と介護予防等の生きがいづくりになり、ポイント還元による保険料負担の軽減、換金や寄附も可能な事業の導入は。

**A** 現在、ポイント制度は実施していない。今後、情報収集に努め検討する。

**Q** 認知症の推移については。

**A** 高齢者人口、約8000名のうち4

分の1が対象と考えられる。

**Q** 介護者の悩みについては。

**A** 介護時に公共のトイレと一緒に入りにくい、下着の購入にためらう等。

**Q** 介護者が介護中であることを周囲に理解してもらえる介護

マークの取り組みは。

**A** 各種団体等の意見を伺い、前向きに検討する。

**Q** ポスター掲示等。

**A** 北九州市、筑紫野市で情報収集し考える。



介護マーク



# 住民とともにつくる町づくりを

## 町民の皆さんに協力をお願いしたい



梶原 弘子 (日本共産党)

### 同和問題

**Q** 町の財政問題が大きく問われている。裕福な町と言われながら内情の厳しさが次々と出されているが。

**A** 財政問題は庁舎内だけでは解決できない。3年間の行政改革で18億円を目標に取り組み、町民の皆さまに負担のための理解と協力をお願いしたい。

**Q** 財政が厳しい時に、町がいまだに予算措置をしているが。

**A** 人権4団体に負担金を支払っている。

**Q** 同和住宅新築資金返済の焦げ付き問題も、町に大きな負担を残している。答弁はいつも同じだが。

**A** 関係者や県も含めて協議する。

### ごみ問題

**Q** 財政問題で必ずゴミの有料化が出される。その前にやる事があるのではないか。

**A** 町のゴミ処理費は、全体の経費を人口で割ると2万3450円になる。全国平均は1万4085円で、荊田町は、1.7倍である。

**Q** ゴミはエコプランで固形燃料にして2千円で売っていたが、平成17年度には無償になり、現在は7千円で買い取ってもらっている。その金額の根拠は。

**A** 処理にかかる炉のメンテナンス料。

**Q** 町財政が厳しい時になぜなのか、調査改善してほしい。

**A** きちんと調査していきたい。

### 再任用職員の配置問題

**Q** 豊富な知識をもっている再任用職員を、ゴミ仕分けの説明会等、地域に出してもらうのは。

**A** そのようにできればと思っている。

**提言** ゴミ出しの時に調味料ビンのプラスチック口を取り除き、よく洗って出せないか。

### 安全な生活を望む

**Q** 西工大南側の法面は、安全なのか。大雨のたびに不安であ

ると住民から意見が出ているが。

**A** 大雨の時など現場を見に行く。西工大は40年たっているが、今日まで何も起こっていない。大きく育った木の剪定や草を切ったあとの掃除な

ど、指導しているし大丈夫ではないか。

**Q** 崩れる心配がないという確たる証拠を示してほしい。

**A** 大学と会議を持つので、その時話をする。



守られていないゴミ出し



# 広島大規模土砂災害の教訓は活かされているか

## 県総合防災訓練で重点的に取り組んだ



常 廣 直 行(21世紀クラブ)

### 地域防災

**Q** 庁舎・消防庁舎・消防団の装備や格納庫・避難所・老朽化したインフラ等、ほとんど手つかずだが、

**A** 消防庁舎デジタル無線化を優先した。庁舎より優先しなればならない所もある。事業の見直しで考える。

**Q** 広島の教訓から対

策本部設置が遅れると避難勧告も遅れる。耐震強度もない庁舎で適切な勧告を出せるのか。

**A** ぐらし安全課と連携し、消防団を活用して対応する。

**Q** 避難場所である北公民館のエアコンが長い間故障していたが、

**A** 限られた予算内で出来る限り対応。大ホールは高額なため

予算に苦勞している。

**Q** 大切な避難場所である。出来る限りではなく、最優先では。

**A** 財政は厳しい。しかし、優先順位に気をつける。

**Q** 広島災害地域は、山を切り拓いて住宅開発を行っていた。本町も山裾や海岸付近まで開発が進み、対策が急がれる。

**A** 警戒区域を指定し、砂防ダムも数か所、事業採択を得た。

**Q** 7月7日の集中豪雨で被害が出た地域の対策は、

**A** 優先順位があり、近衛川氾濫防止に取り組んでいる。

**Q** 与原地区での床上

浸水の原因は、水路の能力不足や水門・井堰いせきの操作が問題では。

**A** 水路の規模は、課題だ。井堰などは区長に依頼した。

**農業振興**

**Q** 農業振興計画後の進捗は、

**A** 成果が出ていないが、将来の担い手不足は確かだ。

**Q** 農業公社も行き詰っているようだが、

**A** 農地の保全や作物、販売流通など多くの課題がある。

**Q** 耕作放棄地は優良な農地まで影響する。持ち主と連絡が困難・点在している・水はけが悪い・面積が狭いなど問題がある。だから公社がやるべ

まだ。

**A** 採算に合わない農地を公社が引き受けることも難しい。

**Q** 採算が取れないから公社がやる。誇れる農業の姿であってほしい。農業振興計画、農業公社の今後の方針は、

**A** 計画通りに進んでいないが、10年計画へ向けて努力しなくてはならない。

**都市計画**

**小波瀬西工大前駅改修**

**Q** 住民の声は「一日でも早く」。財源や改

修規模、PFI・TIF手法、民間力で促進するなど検討したか。

**A** JRからの回答が出てから財源や方法を精査する。

**提言** 早期完成のためには、早急にトップの決断が必要。

**地域交通の整備**

**提言** 地域の移動手段、来訪者を素通りさせず活性化をめざすには、エアポートバス・コミュニティバスを活用した交通ネットワークが重要だ。



農業振興地帯



厳しい財政下でも小波瀬西工大前駅周辺整備事業は進めるべき

基本構想案に沿って、着実に進めていく



遠田 孝一 (新国会)

小波瀬駅周辺整備事業

**Q** 基本構想案が発表された。この案を見て町長の所見は。

**A** 地元の声・議員の声等、いろいろな意見が集約され、利便性・経済性を勘案してできた妥当な構想案である。

**Q** 待望の声が多く、危険性の排除・利便性向上・町の活性化につながる事業。財

政は厳しいが、事業を進める機は熟している。

**A** 事業費約30億円は、複数年にわたる概算。住民の思いもあり、着実に一步一步進めていく。

**Q** 地元・大学・病院等からの具体的な意見・要望は。

**A** 駅の東西からの乗降・高齢者の利便性・バリアフリー化・前面道路の危険性除去・

駐停車スペースの確保、一番の要望は早期実現。

**Q** 2番線を廃止し、ホームの拡幅が前提の構想案。JRとの協議は。

**A** 7月9日JRに対し基本構想を説明。前向きに考えてくれていると感じた。

**Q** JRの「2番線廃止了解」を得るために、苅田町の意気込みを示すべきでは。

**A** 適切な時期に私(町長)が出向いて、直接お願いに行きたい。

**ごみ問題の課題と展望**

**Q** 苅田町はごみの排出量が多く、ごみ処

理に大きな経費を使っているが。

**A** ごみ減量化への努力が必要。県内で苅田町だけがごみ袋無料。大きい袋を配りごみを出しているが環境も考える必要がある。

**Q** ゴミ処理費は8億円、1人当たり2万3千円。行橋市は5千200円。町民にごみの実態を広報し、減量をお願いすべき。

**A** 8億円のゴミ処理費は行革の大きなテーマになる。

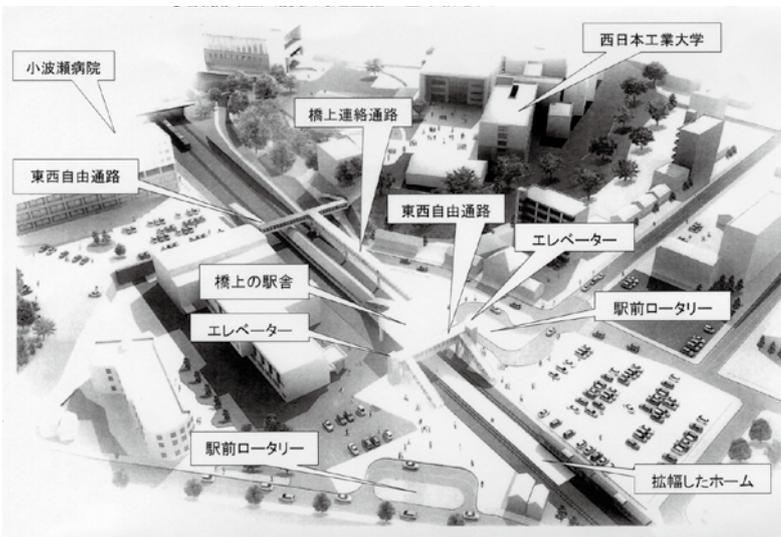
**Q** RDF(ごみの固形燃料化)処理は再資源化でき、最終処分量が少ないメリットと、処理費が高価になるデメリットがある。続けるのか。

**A** エコプラントの更新・焼却処理・広域化

など課題がある。検討している。

**Q** 今後RDF処理費はさらに上がる。北九州市への処理委託も選択肢となるのでは。

**A** 有料にするとごみを減量できる。ごみ袋サイズ・分別とともに、今後考える。



小波瀬西工大前駅周辺整備基本構想図

	一人当り排出量	一人当り経費	ごみ処理有料化	RDF・焼却
苅田町	1016g/日	23,453円/人/年	無料	RDF
行橋市	905g/日	5,266円/人/年	H14年7月	焼却処理
みやこ町	651g/日	7,801円/人/年	H18年10月	焼却処理
北九州市	1113g/日	10,480円/人/年	H10年7月	焼却処理
福岡県平均	1212(H17)	14,972円/人/年		

※平成23年データ(環境課全課)



コミバス値上げは街も住民の活気も失う

利用者の方には一定の負担を



木原 洋 征 (日本共産党)

**A** 中止ないし、凍結と  
いうことで考えてい  
る。

**誰もが安心して暮ら  
せるまちづくり**

**Q** 低所得者の交通弱  
者には、現在の11枚つ  
ぶり千円が、13枚つづ  
り2千円となり、倍  
増は厳しいのでは。

**A** 町は、この事業に  
約3500万円の負  
担をしている。財政  
難から、利用者にも、  
ある程度負担を願  
いしたい。

**Q** 答申では、障がい  
者の負担については  
結論が出なかったの  
で、「団体や福祉部署

**A** 福祉部署とは、ま  
だ相談をしていない。

**Q** 有料化についてなぜ  
相談しなかったのか。  
今後計画があるのか。

**A** 近隣の自治体の状  
況等も勘案して、検  
討している。

**Q** エアポートバスの  
補助金800万円は、  
無駄の典型、なぜ止  
めないのか。

**Q** 各種行事を直前で  
中止することは住民  
に不安感と不満をも  
たらすのでは。

**A** 今後は早めに検討  
し、あり方も考えて  
いきたい。

**Q** 経費削減はごみの減  
量化が一番で、次の対  
策は考えているのか。

**A** 昨年から古紙の回  
収を実施し、減量化  
を図っている。

**Q** 紙類については資  
源回収ボックスを町  
は設置しているが、

これ以上の回収は進  
んでいない。地域の  
団体で取り組んでい  
る以外については、  
資源ごみとして分別  
回収すべきだ。

**A** ステーションから  
の持ち込みも運搬費  
がかかるため、内部  
で検討している。

**Q** エコプラントには、  
予算がかかる。北九  
州に頼む方法も含め、  
早急に切り替える勇  
気はあるのか。

**A** 本気で短期間で進め  
ることを考えている。

**提言** エコプラント  
にも働いている方が  
おり、対応が必要で  
ある。早く決めて実  
行することが経費削  
減の早道。

**小波瀬西工大前駅周  
辺整備事業**

**提言** 小波瀬西工大

前駅周辺整備につい  
ては、東西からの通  
路とホームへのバリ  
アフリー・交通対策  
等シンプルで予算の  
かからない形を望む。

**小中学校のエアコン  
設置**

**Q** 夏休みに調査を  
行っていたが、子ど

もたちとの約束であ  
るエアコン設置は守  
れるのか。

**A** 12月15日までの工  
期で実施設計を行っ  
ている。事業費を算  
出して、一括してい  
けるのか、考えなが  
ら実施をしていき  
たい。



低床バス



# 危機的財政状況の原因は

## 税収減少、対応の遅れ



尾形 均 (黎明の会)

ている。この体質改善が急務である。

### 財政破綻状態

**Q** 経常収支比率100.3%、経常一般財源比率96.5%、この指数は県下最悪か。

**A** ほぼ、間違いない。

**Q** 不交付団体で財政硬直度高い、これは財政力はあるが、財政運営がなっていない。経営感覚ゼロでは。

**A** 今後は住民サービスも落とさないといけない。

**Q** 5年連続赤字。これは無駄が多すぎ、これに何もしてなかったのでは。

**A** 税収減に対する対応が遅れた。甘受する。

**Q** 民間企業・団体等であれば責任問題。主婦感覚であれば早目に対処する。この状況はいつから始まったか。

**A** 平成21年度くらいから。

**Q** 当時は何もしていない。徳儀に足が掛かった今日、やっと目覚める。こんな苅田町に誰がしたのか。

**A** 取り組みが遅かった。批判は当然だ。

**Q** 北海道夕張市。完全に経営破たんした。

その責任は誰も取らない。最後は市民の責任だと。

**A** 今後、行革の結果を出すことで果たしたい。

**Q** この状況の中で、行革への本格的な取り組みを始めた時期と成果は。

**A** 平成24年頃。それ以前は緊縮予算編成のみにて対応。効果は3年間で15億円を予定。それでも目標未達成。

**Q** 平成24年頃と云うが、未だ成果は僅か。大丈夫か。

**A** 批判は受けた。赤字解消には事務事業見直しの中で住民サービス削減まで切り込む。

**Q** 県下唯一の不交付団体がここまで落ちた。県内類似団体と比べて人件費・物件費が相当高い。独自施策も含めて切り込めるか。

**A** 職員の適正数は難しいが、事業・費用を見直したい。

**提言** 今の硬直した財政下では何も出来ない。住民サービス削減は最低限にして財政を元に戻すべき。

**Q** 相場には手を出さな。これが日本の伝統だが、町は仕組債17億円購入。資金繰りが出来ず一時借入れを起こしているが。

**A** 指摘のとおりだが、早期償還の可能性はある。

**Q** 資金がなくて、借入額が段々増えているが。

**A** 15億円の内10億円

は償還の可能性はある。

**Q** 規則上買えない商品を買ったため、購入後、規則を変更している。会議の議題にもない。誰が勝手に変更したのか。

**A** 町として判断した。

**提言** 苅田町では、「ルールを守らなくて済まされる」という悪しき風土が充満し



財政危機の本町。責任は誰に



友田 敬而 (みらい)

責任は町長にある

**Q** 福岡県は、4代続いて本町に副町長を送り込んでいる。その間、財政は悪化の一途だ。

**A** 荻田町のために来ている。財政健全化は県の願いでもある。

**Q** 町長は「本町は裕福だと言われるが交付団体と変わらない」と発言。本当に財政を理解しているのか。

**A** 財政力について詳

しいことはつかめていない。

**Q** 第4次行財政改革は、上手く行っているのか。

**A** 赤字が止まらない。一層の見直しが必要。

**Q** 吉廣町政は、好況時の一時的な税金40億円を使い果たし、町の貯金・財政調整基金に手をつけ、50億円に手が届くところになっている。

**A** 事実だ。

**Q** 歳入構成で第2位が繰越金という異常事態。このような自治体は他にいくつあるか。

**A** あまり例がない。

**Q** 税の一時的な増収を豊かさで勘違いして、貯金せず、繰越金として住民サービス増加に使いはたした。原点に戻り、見直すべきだ。

**A** 見直しが必要。しかし、国・県から下りてくる新しい政策も悪化の要因だ。

**Q** 国・県からの事業が悪化の要因なら、具体的に示せ。他の自治体はここ数年、財政が健全化している。

**A** 全国の町村の経常収支比率は24年度が84・9%、19年度が89・1%と改善されている。

**Q** 町の財政悪化の一番の要因は一時金(繰越金)をあてにして、町長が行ってきた恒常的に続く住民サービスの増加ではないか。

**A** ほぼ間違いない。繰越金に頼った財政運営が破綻した。だから、見直すための行財政改革だ。

**Q** 過去5年間、一貫して財政の裏づけのない住民サービスは行き詰る、見直しを言い続けてきた。今回が見直す良い機会では。

**A** 少しでも住民に還元したい思いが強い。より一層検討したい。

**Q** 行財政改革のゴールは。

**A** 健全財政運営に努めること。私の残り任期は3年だが、任期中一杯行い、次の方に継続してもらう。

**Q** しかし、基金は残り少ないのでは。

**A** もう1、2年で食いつぶしそうだ。そうなれば赤字団体に転落する。その意味では残り時間は少ない。

**Q** 現在の行財政改革は、一時収入も見込

んで3年間18億円の削減計画と甘い。

**A** 目標を立てたので努力する。足りなければ一層の努力が必要。

**Q** 計画を立てて、行うといったら結果を出さなければならぬ。出せなければ町長が責任を取らなければいけないのでは。

**A** 今の計画では不十分。議会と相談しながらより一層の見直しを進める。





# JR小波瀬西工大前駅完成までのプロセス

## 2番線の廃止が第一の課題



梶谷 忠明 (みらい)

**Q** JR小波瀬西工大前駅の進捗状況は。  
**A** 基本構想を策定し、5月に産業建設常任委員会、議会全員協議会において説明後、近隣区長・西工大・小波瀬病院に構想を説明。  
**Q** JRコンサルからの図面を見たが、これは最初の一步と思う。今後のタイムテーブルは。

**A** JR九州と協議中である。回答が出次第、基本設計、そして実施設計という手順である。  
**Q** 予定されている着工時期と完成予定は。  
**A** 平成29年度より工事の着工予定で、駅周辺整備を含めて33年完了予定。  
**Q** 平成29年から工事概算30億円。その内駅舎についてはい

くら掛るのか。  
**A** 概算だが、3億2千万円程度。  
**Q** この事業に対する補助金の見込みは。  
**A** 都市再生整備計画という事業に盛り込めば、その中で全体的に4割という補助メニューがある。今後いろいろ精査し県の担当部署などと協議しながら進める。  
**Q** 大変厳しい財政状況の中で近年投資的経費が余り使われていない。投資的経費で、取捨選択が必要なのは。  
**A** 財政難は疑う余地もないが、集中と選択、優先順位を考えた事業を展開していく。

JR小波瀬駅については、出来るだけ計画に沿って努力をしたい。  
**Q** 防災に対しては町の防災無線と携帯のまもるくんが有るが、防災無線は聞こえにくい。  
**A** 防災無線は88か所に準備。夕方5時には調整を兼ねて毎日放送している。気になるときは役場に電話を。(093・588・1086)  
**Q** 豪雨による地すべり・浸水・川の氾濫などが予想されるが、対策は。  
**A** 土砂災害危機警戒区域は、平成25年3月現在117の指定を受けている。昨年度に、新津谷・提谷の砂防ダム建設の陳情をし、採択された。



危ない小波瀬西工大前駅の道路

**Q** 防災マップを昨年度、各家庭に配布しているがもう一度、「広報かんだ」その他で啓発してはどうか。  
**A** 本年6月に県の総合防災訓練があった。町ホームページには

掲載しているが、もう一度広報で案内する。



# JR小波瀬西工大前駅について

## 周辺整備基本構想図でできる



井上 修 (革進クラブ)

### 大型公共事業

**Q** 今日までのJR小波瀬西工大前駅の取り組みは。

**A** 昨年度基本構想を策定。5月に議会全員協議会にて説明。以後西日本工大・小波瀬病院・近隣区長にも説明。JR九州と協議を開始。

**Q** JR九州と事前協議が行われているが、一番の課題は何なのか。

**A** 最大のポイントは2番線の廃止と考えている。

**Q** 国・県からの補助金を有効活用していただきたいが。

**A** いろんな補助メニューを精査し、利用したい。

**Q** JR西工大前駅周辺の整備橋上駅は地域住民の大きな願い。工程表では、平成33年に完成予定だが。

**A** JR九州の回答を一日も早く得て、目標に向かって進んでいく。

### 与原区画整理事業

**Q** 平成23年3月に事業認可、総事業費は約85億3千万円。上水道・下水道の費用はいくらか。

**A** 約11億円予定している。

**Q** 与原・尾倉線で住居移転等の問題点はないのか。

**A** 協力的にやっけていただいている。

**Q** 国・県からの補助金はいくらか。

**A** 計画では国へ18億円の補助を申請して

いる。

**Q** 保留地の販売計画は何年ごろか。

**A** 与原・尾倉線の都市計画道路が完成する平成28年度を予定している。

### 財政問題と機構改革

**Q** 3カ年計画18億円の削減の指標基準は。

**A** 達成するには厳しい状況である。町独自事業を対象に見直していく。

**Q** 機構改革で職員30名の削減はどうなるのか。

**A** 退職者・新規採用者の人数を調整し、達成できると考えている。

### 産業振興

**Q** 税収を産み出す成

長政策が求められている。今後の企業誘致の見通しは。

**A** 重要課題である。県の企業立地課と情報を共有し、連携を強化、自動車産業、自動車関連産業を誘致したい。

**Q** 県が埋めている新松山臨海工業団地は。

**A** 現在、県・町を通してリサーチがあり付加価値の高い企業

を考えている。

**Q** 産業振興支援の補助金、奨励金は本町として考えているのか。

**A** 本町ではJISQ9100(※)の取得を勧めるため奨励金制度を設けた。

※JISQ9100:航空宇宙防衛産業における特有要求事項を追加した品質マネジメントのJIS規格



小波瀬西工大前駅



議会だよりかんだ (121号)  
平成26年10月25日発行

編集・議会広報特別委員会  
発行責任者・坂本東二郎

〒8000-0392 福岡県苅田町富久町1-19-1  
☎093-434-1981 FAX093-434-2099

# 人物 クローズアップ

## CLOSE UP

第2回

苅田商工会議所青年部会長  
すぎさかまさのり  
杉坂正徳さん



**Q**・商工会議所青年部の設立は？

**A**・平成16年5月17日、34名で発足し、現在は41名です。当時の日本は厳しい状況に陥り、中小企業はもとより大企業も苦しんでいた中「今こそ若い人たちに活躍の場を、次世代を担う企業家を」との三原会頭の言葉から産声をあげました。

**Q**・青年部の目標・目的は？

**A**・私が会長を拝命するにあたり設けたスローガンは、昨年度が「和・人は人のために」、今年度は「人の縁 夢ある街 結び 苅田 Y E G」です。これまで当青年部が受

けた恩恵を地域のため人のために活動することでお役に立つことが出来れば、

今までご支援くださった皆様が一番喜んでくれるのではないかと考えました。

**Q**・福岡県内の数は？

**A**・12単会、700名強です。

**Q**・会員になるための資格等は？

**A**・苅田商工会議所の会員で50歳以下です。

**Q**・おもな活動は？

**A**・昨年創立10周年記念として、新しく餅まきチャリティバザーを神幸祭時に行い、収益金で各小学校にバスケット



神幸祭での餅まき

### 町民の皆さんへ メッセージ

発足当時から歴代会長が、いくつもの事業や研修を実施して青年部の基礎が固まりました。

当初は、失敗もあったそうですが、皆で話し合い、試行錯誤を繰り返しながら力を合わせて進み、今は胸を張って「苅田商工会議所青年部会員です」と言える団体になったと思っております。

青年部はこれからも夢ある苅田町をつくるため、次代の子どもたちへの教育やスポーツに貢献し活動を続けてまいります。皆様のご期待にそえるよう精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

### あ と が き

暦の上で、気候の変わり目を示す日を節気といいます。10月には寒露と霜降の日があり、秋から次第に冬に向かっていく状況をあらわしているのです。今年、止めようのない自然災害が多発し、多くの人命も奪われました。心からのご冥福と地域の復興をお祈りするしかありません。苅田町に在住の皆様のご安全・安心のために、議会もがんばってまいります。そんな議会活動状況を今後もし送り続けますので、ご理解ご協力をお願い致します。

伊塚 弘

### 議会広報特別委員会

- 委員長 三原 茂
- 副委員長 遠田 孝一
- 委員 梶原 弘子
- 井上 忠修
- 榎谷 明
- 伊塚 弘
- 白石 学